

张继彤 编著
卢涛 李巍 审订
卢冰 朗读

读览日本

日语泛读精粹(二)

人生に、いつも本を



- 独家收录20篇日语美文
文章简洁风趣，淋漓展现日本风土人情
- 紧扣日语能力考试大纲
配有单词、语法解析及课后练习题
- 特别附带日本旅游导览
在阅读中饱览东瀛美景，轻松卧游日本

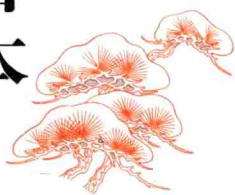
含内文朗读
MP3下载

清华大学出版社

张继彤 编著
李巍 审订
卢冰 朗读

日语泛读精粹 (二)

人生に、いつも
癒しを



清华大学出版社
北 京

内 容 简 介

本套书是为高等学校日语本科或专科泛读课编写的教材,共两册。本册为第二册,可供本科三年级第一、二学期使用,同时也适合社会各类日语学习班的学员和具有一定日语基础的社会各界人士使用。特别是对准备参加日语能力考试的考生来说,本书是一本很有价值的参考书。

全书共20课,每课设有课文、单词详解、语法及表现形式解析、课后练习题及日本旅游导览等五个版块,并在书后附有每课课文的参考译文及课后练习题答案。本书附带每课课文的朗读音频,既可以帮助读者提高口语能力,又可以锻炼读者的听力能力。

本书由重点高校的知名日语教师精心编写。课文均出自日本报刊、杂志和小说,收录的文章基本是国内其他教材所未收录过的。在内容上注重了知识性、实用性、趣味性及多样性的结合。通过对本书的学习,可提高学生的阅读能力和对问题的理解、分析能力,也可全方位了解日本的社会、文化、地理、风俗人情等方面。

本书封面贴有清华大学出版社防伪标签,无标签者不得销售。
版权所有,侵权必究。侵权举报电话:010-62782989 13701121933

图书在版编目(CIP)数据

读览日本:日语泛读精粹(二)/张继彤编著. —北京:
清华大学出版社,2015

普通高等教育“十三五”外语类重点规划教材
ISBN 978-7-302-39327-6

I. ①读… II. ①张… III. ①日本—高等学校—教材
②日本—概况 IV. ①H369.4:K

中国版本图书馆CIP数据核字(2015)第019924号

责任编辑:张丽娜
封面设计:杨玉兰
责任校对:张文青
责任印制:刘海龙

出版发行:清华大学出版社

网 址: <http://www.tup.com.cn>, <http://www.wqbook.com>

地 址:北京清华大学学研大厦A座 邮 编:100084

社总机:010-62770175 邮 购:010-62786544

投稿与读者服务:010-62776969, c-service@tup.tsinghua.edu.cn

质 量 反 馈:010-62772015, zhiliang@tup.tsinghua.edu.cn

课 件 下 载: <http://www.tup.com.cn>, 010-62791865

印 装 者:清华大学印刷厂

经 销:全国新华书店

开 本:145mm×210mm 印 张:8.5

字 数:300千字

版 次:2015年3月第1版

印 次:2015年3月第1次印刷

定 价:32.00元

产品编号:061445-01

本书编委组

编 著：

张继彤 上海理工大学外语学院教授

审 订：

卢 涛 日本广岛大学教授

李 巍 上海电力学院日语系主任

编 委：

福井祐介 金 晶 罗齐慧 李 巍 朴正龙

张 培

下载说明

为倡导“绿色阅读”，本书内文朗读音频将以网络下载的方式呈现给各位读者。下载方法如下。

第一步：请登录 www.wenyuan.com.cn；

第二步：打开“资源下载”版块，输入“读览日本”四个字后，点击旁边的“搜索”按钮，即可看到本书的 MP3 音频压缩包。

在下载过程中遇到任何问题，请发邮件至 dulanriben@126.com。

前 言

本套书是为高等学校日语本科或专科泛读课编写的教材，共两册。本册为第二册，可供本科三年级第一、二学期使用，同时也适合社会各类日语学习班的学员和具有一定日语基础的社会各界人士使用。特别是对准备参加日语能力考试的考生来说，本书是一本很有价值的参考书。通过对本书的学习，可提高学生的阅读能力和对问题的理解、分析能力，也可全方位了解日本的社会、文化、地理、风俗人情等方面。

本书课文均出自日本报刊、杂志和小说，收录的文章基本是国内其他教材所未收录过的。文章的长度以 1200 字左右为起点，逐渐增加到 2000 字左右。每课练习部分给出一篇读解文章，供学生自主学习。

本书在内容上注重了知识性、实用性、趣味性及多样性的结合。每课内容包括“本文”、“単語”、“文型と表現”、“練習”、“日本の道のガイド”等五部分。

“本文”题材广泛，信息量适度，贴近日本生活。

“単語”按单词出现的先后顺序排列，注有假名、日语汉字、声调、词性和常用汉语译词等。

“文型と表現”突出重点，简明扼要。

“練習”以提高学生的阅读能力为目的，着眼于对问题的理解、分析等基本功的训练，使学习者能够顺利通过日语能力考试。

“日本の道のガイド”从南到北介绍了日本都道府县的地理位置、

气候以及名胜古迹，以达到“卧游”日本美丽风光的效果。

本册接续第一册，从 21 课到 40 课，共安排了 20 课，书后附有练习答案和参考译文。

本册第 21 课~第 23 课的“単語”、“文型と表現”及参考译文由张培负责;第 24 课~第 27 课的“単語”、“文型と表現”及参考译文由金晶负责;第 28 课的“単語”、“文型と表現”及参考译文由李巍负责;第 29 课~第 32 课以及第 36 课~第 40 课的“単語”、“文型と表現”及参考译文由朴正龙负责;第 33 课~第 35 课的“単語”、“文型と表現”及参考译文由罗齐慧负责。

本书收录的文章涉及的作者众多,我们难以和每位作者一一联系,在此深表歉意。另外,对本书出版给予大力支持清华大学出版社和在收录资料、校对等工作上给予帮助的日本广岛大学同学表示衷心感谢。最后,希望本教材能得到老师和同学们的喜爱,并希望大家不吝指正。

张继彤

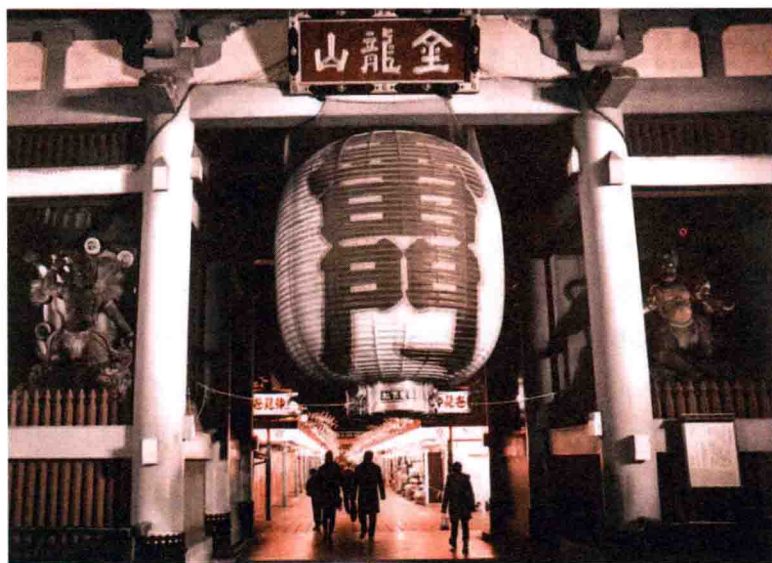
2014 年 11 月

目 次-----

第 21 課	文化って	3
第 22 課	感謝はすぐに表す	13
第 23 課	終身雇用制	23
第 24 課	幼き装う日本人の創造性	33
第 25 課	大人のための勉強法	43
第 26 課	自分と出会う	53
第 27 課	なぜ、男は「女はバカ」とおもってしまうか	63
第 28 課	流行に飛びつかない	71
第 29 課	二二の木	81
第 30 課	友人知人の悪口を言わない	91
第 31 課	年賀状の歴史	101
第 32 課	冬の日本人——ここが「変」	111
第 33 課	不快に思う音のくい違い	121
第 34 課	割り勘にする？ しない？	131
第 35 課	目は口ほどにものをいい	141
第 36 課	読書の力	151
第 37 課	運動・勉強、伸びるコツは	161
第 38 課	女が一人で行動するのはヘン？	171
第 39 課	人生に、いつも本を	181
第 40 課	レポート・論文の書き方	191

参考訳文と解答	203
単語リスト	241
文型リスト	260

日本の道のガイド



東京都

浅草寺の雷門

¹ “日本の道のガイド”这一版块设置在每课的最后,本章为特别附加。



東京都の主要部分は、関東平野に位置し、東京湾に面しています。神奈川県、埼玉県、千葉県と隣接しており、山岳地帯で一部山梨県とも接しています。明治維新以前都心部の旧称は「江戸」で、幕府が江戸の地に置かれた江戸時代（1603～1867 年）以降、大いに栄え、今に至ります。

東京都には日本の首都機能が置かれています。日本の司法・立法・行政の中心地で、経済の中心地でもあります。人口は日本の都道府県の中では最も多く、人口密度は大阪府と同程度です。東京都区部を中心とする首都圏は、世界で最も人口が多い都市圏で、経済規模ではニューヨーク大都市圏を凌ぎ世界最大です。2014 年、アメリカのシンクタンクが公表したビジネス・人材・文化・政治などを対象とした総合的な世界都市ランキングにおいて、ニューヨーク、ロンドン、パリに次ぐ世界第 4 位の都市と評価されました。多くの人が集まる東京にはビルが多く、都会というイメージが強いですが、下町には、江戸時代の伝統が残り、西部の山地や伊豆諸島、小笠原諸島には、豊かな自然も残っています。

高度経済成長期以降、東京都心からやや離れた重要地域として東京都が指定した副都心（7ヶ所）の一つとして、上野・浅草副都心が形成されています。浅草は第二次大戦当時壊滅的な被害を受けましたが、その後は目覚ましい復興を遂げました。浅草寺に代表される浅草の街は、現在も江戸の下町情緒を感じさせる地区として賑わっています。



第21課 文化って-----

本文

国が違えば文化が違うことは皆さんもよく分かっていることと思います。皆さんが「文化が違う」と言うときの「文化」ってどんなものでしょうか。具体的に「日本文化」を例にとって考えてみましょう。「日本文化」と聞くと、どんな物を思い浮かべますか。茶道、いけばな、着物、柔道、剣道、相撲、能などでしょうか。

実は、これらのほとんどは「伝統文化」と呼ばれているもので、現代の日本人の生活にはあまり取り入れられてないものです。茶道やいけばなができない日本人はたくさんいますし、歌舞伎や能をみたことのない日本人も多くいます。1年のうちの特別な行事や祝い、祭りなども、同じように伝統文化です。

こういうものは、自分の国にはなかったり、珍しいものだったりしますから、はじめから「違う」という気持ちを持って接することが出来ますね。違いがはっきりと見えやすいものだからこそ、その違いを楽しむこともできるのではないのでしょうか。

ところが、コミュニケーションをするうえで一番問題になるのは、違いがはっきりとは見えないために、同じだろうと期待して接してしまう文化です。こういう文化は、毎日の生活や仕事での人間関係の中に隠れているのです。ふだんは見えないのですが、きっと自分は相手と同じだろうと思っていたのに、相手に期待したものと違うことをさ

れたとき、相手のことを「変な人」とか「礼儀やマナーを知らない人」と決め付けてしまいがちです。本当に問題なのは、そういう見方をしてしまうことなのです。

例えば、韓国に「ビビンバ」というご飯の上にいろいろな野菜が乗っているどんぶりものがありますね。少し前まで日本人はこれを食べるとき、かき混ぜないで食べていました。なぜかという、日本では、親子丼やかつ丼などのどんぶりものは、かき混ぜないで上から食べる習慣だからです。韓国人は、はじめに十分混ぜてから食べる混ぜご飯のビビンバを、かき混ぜないで食べる日本人のことを「変だ」と思ったでしょう。

反対に、日本に留学してきたばかりの韓国人が親子丼を食べるとき、ビビンバのように最初に全部かき混ぜて食べるのを見たことがあります。それを見たまわりの日本人は「なんて行儀の悪い人だろう」「汚い食べ方をするいやな人だ」とあきれていました。

韓国にも日本にもご飯の上にいろいろものに乗ったどんぶりがあるという点では共通しています。ところが、同じ点があるということが、かえって、食べ方に違いがあることを見えにくくさせてしまうのです。そのうえ「変な」とか「マナーが悪い人」だと思ふ相手に、「あなたはマナーが悪いです」とはっきり言うことはしませんから、誤解がいつまでたっても解けないままになってしまうのです。

このように、心の中で思っただけでも、ことばでは相手に直接伝えるにくいことが、お互いのコミュニケーション活動の大きな敵になってしまうのです。

「日本語ジャーナル」

単語

思い浮かべる（おもいうかべる）④⑥ 〔下一他〕 回想起。

浮现脑海里。

柔道（じゅうどう）① 〔名〕 柔道。

剣道（けんどう）① 〔名〕 剑术。

取り入れる（とりいれる）④⑥ 〔下一他〕 收获。采取。收起。

隠れる（かくれる）③ 〔下一自〕 隐藏。潜在。被埋没。

決め付ける（きめつける）④ 〔下一他〕 指责。申斥。断定。

丼（どんぶり）⑥ 〔名〕 大碗。大碗盖饭。

掻き混ぜる（かきまぜる）⑥ 〔下一他〕 搅拌。搅和。

行儀（ぎょうぎ）⑥ 〔名〕 举止。礼貌。规矩。

あきれる ⑥ 〔下一自〕 愣住。吃惊。厌烦。

共通（きょうつう）⑥ 〔名・サ自〕 共同。共通。

かえって ① 〔副〕 反倒，反而。

解ける（とける）② 〔下一自〕 解决。解除。松了。开了。

お互い（おたがい）⑥ 〔名・副〕 相互，彼此。

敵（てき）⑥ 〔名〕 敌人。对手。

文型と表現

1. ～がち

接在名词或动词连用形后，后面多接不好的事情或状态，表示不愿意看到的事情等。「～がち」可接的名词比较少，基本限定在表示气候、病理等名词上，多接在动词连用形后，并常和表示频率很高的副词「いつも、よく、とにかく」等搭配使用，意为“经常容易……；动不动就……”。

○ 弟は子供のころ、よく病気がちで、両親に心配をかけたものだ。

○ 最近のサラリーマンは、とにかく運動が不足しがちだ。

2. ～たばかり

接在动词た形后, 表示某个动作、事项刚刚完成。多指所说的事情刚刚完了, 并且已经过去了一段时间。意为“刚刚”。

- 今帰ってきたばかりです。
- 先週、その映画を見たばかりです。

3. そのうえ

表示说明一个事项的状况时追加另一个事项的状况, 含有“在那之上, 更有甚者”之意。用于客观的说明性的叙述句, 后面不能使用命令、请求、愿望等主观意志句。意为“而且, 加上”。

- 今日は友達のごちそうになった。そのうえ、プレゼントももらった。
- 最近、疲れやすい。そのうえ、いつも眠い。
- 雨が降り出した。そのうえ風も吹き出した。

練習

練習I 本文の内容に沿って、次の質問に答えなさい。1、2、3、4から最も適当なものを一つ選びなさい。

問題 1. 「こういうもの」とは何を指すか。

1. 伝統文化。
2. 礼儀やマナー。
3. コミュニケーション活動。
4. 毎日の生活や仕事での人間関係。

問題 2. 「コミュニケーションをするうえで一番問題になる」のは何ですか。

1. 国が違えば文化が違うこと。
2. 毎日の生活や仕事での人間関係の中に隠れている、違いがはっ

きりと見えない文化。

3. 伝統文化。
4. 食べ方に違いがあること。

問題 3. 「誤解がいつまでたっても解けないままになってしまう」理由は何ですか。

1. 伝統文化だから。
2. 文化の違いを楽しむことができるから。
3. 自分の国にはなかったり、珍しいものだったりするから。
4. 心の中で思っただけでも、ことばでは相手に直接伝えることができないから。

問題 4. この文章に書かれている内容として正しいのはどれですか。

1. 茶道、いけばな、着物、柔道、剣道、相撲、能などの「伝統文化」は、現代の日本人の生活に多く取り入れられているので、それらを自分の国にない文化として外国人は気軽に楽しむことができる。
2. 異文化間でコミュニケーションをするとき、外国の文化と自分の文化の違いがはっきり見えないと、その外国文化を何となく自分の文化と同じだろうと期待してしまうことがある。その場合、こうした期待が裏切られることによって、外国の文化を「変だ」と思ってしまうがちである。
3. 韓国にも日本にも、ご飯の上にいろいろなものが乗ったどんぶりがある。日本ではそうしたどんぶりものを食べる時、よくかき混ぜて上から食べる習慣があるが、韓国ではこのような食べ方は行儀が悪いとされている。
4. 異文化間コミュニケーション活動の大きな障害要因は、はっきりとした文化の違いが生みだすさまざまな誤解にある。しかも、こうした誤解は文化に根ざしているだけに、いつまでも解消しないことが多い。

練習Ⅱ 次の文章を読んで、質問に答えなさい。

日本人は、以前はみんな紙と木の家の中に暮していました。この紙と木の家は、気配（けわいとも言います）がある家だと思います。

ぼくが子どもの頃、家で勉強していると、隣の部屋で両親が、子どものじゃまにならないようにと、小さな声で話をしています。ときには議論をして、声もはげしくなるでしょう。でも子どもの勉強のじゃまをしてはいけないというので、声をひそめて話している、その気配が伝わってくるのです。

二階のお姉ちゃんは、オルガンを買ってもらってうれしくてしょうがありません。でもオルガンは大きな音をたてるので、昼間しか弾いてはなりません。どうしても弾きたいので、音を殺して小さな音で弾いています。その忍^{しの}ぶような音が気配となつてきこえてきます。「ああ、お姉ちゃん、オルガンが弾きたいのだなあ」。夜は我慢してくれているから、昼間はうるさくても、お姉ちゃんにいっぱい弾いてもらおうというきもちが育ってきます。

（ ）、家族どうしが気配で感じあうだけで、おたがいの心を思いやり、譲りあつたりできたのです。我慢したり不自由なことも多いけれど、思いやり、譲りあつたりすることの喜びが、何かいいことをしたという誇らしい気持ちに変わって行きます。だから言葉を交^かわさなくても、気配によって家族の絆がしっかりとつくれ、保^{たも}たれてきたのが、木と紙でできた家の暮らしなのです。

問題 1. 「伝わってくる」とあるが、だれに伝わるのですか。

1. 姉 2. 両親 3. ぼく 4. 家族

問題 2. 「音を殺して小さな音で弾いています」とありますが、なぜそうするのか。

1. 買ったばかりのオルガンだから。